

V 日高振興局

1. 日高地方花き連合会「花き品評会」、管内高校への花束配付を実施

日高地方花き連合会（会長：弓倉弘氏）は、1月22日にJA紀州がいなポートで「花き品評会」を開催した。

今回で5回目となる「花き品評会」では、過去最高となる120点の切り花や切り枝が出品された。審査の結果、有地秀和氏（御坊市）のダリア「ガーネット」と中尾輝雄氏（印南町）のスターチス「アテナピンク」が最高の金賞、野村直佑氏（御坊市）のビバーナムが特別賞を受賞したほか、銀賞5点、銅賞7点が選ばれた。昨年来コロナ禍により花き産業が大きな影響を受けている中での開催にも関わらず、多くの優れた花が集まり大変意義のある品評会となった。

また、今回は初の試みとして、出品された花を活用し高校生に親しんでもらう取組が行われた。1月25日、会員らは管内5校の高等学校を訪問し、花束と日高地方の花を紹介したリーフレット等を生徒代表に手渡し、「受験生がんばれ」、「コロナ禍で憂鬱な中だが、花が少しでも癒しになれば」、「地元を旅立って行かれる生徒が多いと思うが、街中で地元の花を見た際に故郷を思い出してほしい」などと声をかけた。受け取った生徒からは、「花を見て前向きに頑張りたい」、「きれいな花で色々な作品を作りたい」等の声があった。

今回の取組は大変好評で前向きな意見も多く聞けたことから、連合会では高校生向けの花きPR活動を行っていききたいと考えている。



金賞を受賞した有地氏（左）と中尾氏（右）



出品物を鑑賞する生産者



花束配付（日高高等学校）